

平成30年度 兵庫県立星陵高等学校 学校評価

1. 全くそう思わない 2. あまりそう思わない 3. どちらとも言えない 4. ややそう思う 5. 強くそう思う

評価の観点	評価項目	実践目標など	番号	平均	順位	昨年度(H29)					
						平均	比較	順位			
学 校 運 営	運営全般	教育目標	本校の教育目標を踏まえて生徒の教育に当たっている。	1	3.82	7	3.68	△	0.14	14	3.25
		職員会議	教職員の情報交換と課題検討の場としてよく機能させている。	2	3.10	31	3.30	▼	-0.20	30	
		各分掌経営	それぞれの分掌で組織的に学校運営に当たっている。	3	3.31	25	3.56	▼	-0.25	21	
		施設・設備・システム	教育環境をよく整備している。	4	2.78	35	2.64	△	0.14	35	
	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	保護者や地域住民に対して、教育活動などについての広報活動を積極的に行っている。	5	3.37	21	3.44	▼	-0.07	24	3.36
		ホームページはこまめに更新され、リアルタイムで情報発信できている。	6	3.22	28	3.32	▼	-0.10	28		
		学校評議員制度の活用	学校評議員会で得られた意見等を学校運営に生かしている。	7	3.18	30	3.32	▼	-0.14	28	
	生徒指導	PTCA等との連携	PTAや同窓会の諸活動に幅広く協力し、連携を進めている。	8	3.65	13	3.66	▼	-0.01	15	3.51
			生徒指導方針の確認と指導体制の推進	生徒の実態に即し将来の社会人としての在り方を見据えた適切な指導を行っている。	9	3.61	18	3.44	△	0.17	
		生徒の内面理解を図る指導の工夫	事件・事故・苦情等について、組織的な体制を整え迅速な対応・対策を行っている。	10	3.88	3	3.80	△	0.08	9	
		生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	生徒と温かい人間関係を築く努力をし、生徒理解に努めている。	11	3.86	4	3.94	▼	-0.08	3	
	進路指導	進路指導体制の充実	部活動の活性化を心がけ、生徒が達成感を得られるよう部活指導を行っている。	12	3.73	8	3.76	▼	-0.03	11	3.65
			生徒会活動やホームルーム活動に全校生が積極的に関わることができるように指導を工夫している。	13	3.71	9	3.66	△	0.05	15	
			進路意識の向上をめざして、外部講師の活用・見学会等を組織的に実施している。	14	3.65	13	3.72	▼	-0.07	12	
	教職員の 資質向上	実践的指導力の向上と研修の充実	生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるような情報提供を行っている。	15	3.65	13	3.70	▼	-0.05	13	3.51
			指導力向上のために出張等で得た情報を部内会議や職員会議を通じて共有している。	16	2.96	34	2.88	△	0.08	34	
			研究授業・公開授業等を積極的に行い教科指導力の向上を図っている。	17	3.67	12	3.20	△	0.47	32	
			内外の人のとの挨拶、保護者との対応や電話の応対など相手中心主義を心がけ接遇している。	18	3.90	2	3.92	▼	-0.02	6	
	危機管理体制の 整備	実効ある危機管理意識の向上	危機管理について教職員間で共有して、危機管理意識の向上を図っている。	19	3.35	22	3.40	▼	-0.05	26	3.60
		教員の実践的な研修・訓練と生徒に対する防犯教育の充実	教職員は、生徒の安全と個人情報の管理に配慮して、教育活動に当たっている。	20	3.86	4	4.00	▼	-0.14	2	
教 育 課 程	基礎・基本の 定着	指導法の工夫	「わかる授業」を心がけ、生徒の理解度を反映するよう指導の工夫をしている。	21	3.69	10	3.90	▼	-0.21	7	3.46
		生徒の学力の把握と評価基準の設定	様々な側面から生徒の学力を把握し、評価に反映するよう各教科でよく話し合っている。	22	3.22	28	3.56	▼	-0.34	21	
		教科・科目でシラバスを策定し、それに基づき評価基準を明確にして評価している。	23	3.41	20	3.58	▼	-0.17	20		
	個に応じた 学習指導	指導形態の工夫	習熟度別授業や少人数授業など生徒個々に応じた指導を行い、学力向上を図っている。	24	3.69	10	3.90	▼	-0.21	7	
		特別活動	学習意欲の高い生徒、到達度の低い生徒に対する学習指導に取り組んでいる。	25	3.59	19	3.94	▼	-0.35	3	
	個性化・多様化	特色ある教育課程の編成	適切な時期に実施されるように計画し、充実を図っている。	26	3.63	16	3.60	△	0.03	18	
	総合的な学習の時間	第二・三学年の総合的な学習の時間の運営	特別非常勤講師・高大連携の活用等をし、特色ある教育課程の編成に取り組んでいる。	27	3.29	26	3.60	▼	-0.31	18	
生命科学類型	実施上の工夫	年間を通して計画的に実施し、その効果をあげている。	28	3.24	27	3.40	▼	-0.16	26		
生 自 主 の 性 社 の 会 性 成 育	健康に関する 教育	キャンパス・スカウトの広報に努め、十分に活用している。	30	4.02	1	4.22	▼	-0.20	1	3.48	
		生徒自身の健康や安全に対する意識を育成している。	31	3.84	6	3.94	▼	-0.10	3		
	国際理解教育	自他の歴史や文化の理解	多文化共生社会に生きる生徒の資質を育成している。	32	3.08	32	3.16	▼	-0.08		33
	体験活動	地域貢献やボランティアなど体験活動の推進	地域住民との交流行事や地域清掃活動など地域とのつながりを強めている。	33	3.63	16	3.64	▼	-0.01		17
		課外活動として、ボランティア等社会と直接触れ合う活動への参加を促している。	34	3.35	22	3.80	▼	-0.45	9		
	人権教育	人権教育推進体制への取組み	三年間を見通して人権LHRを計画的に実施し、充実を図っている。	35	2.98	33	3.22	▼	-0.24		31
				平均	3.49		3.58	▼	-0.09		